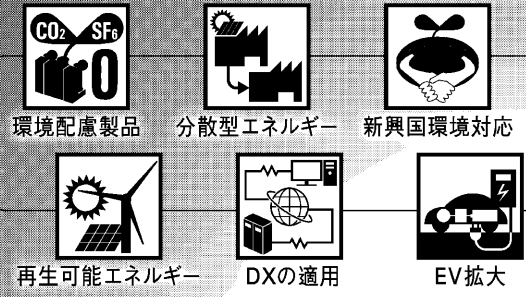


日新一新

NISSIN ISSIN

変化への適応 変化の創造

日新電機グループは、多様な価値観が尊重され、チャレンジ意欲を持った活動ができる環境のもと、一人ひとりが社会に貢献していることを実感でき、確かな技術力で持続可能な未来を創造する会社を目指します。

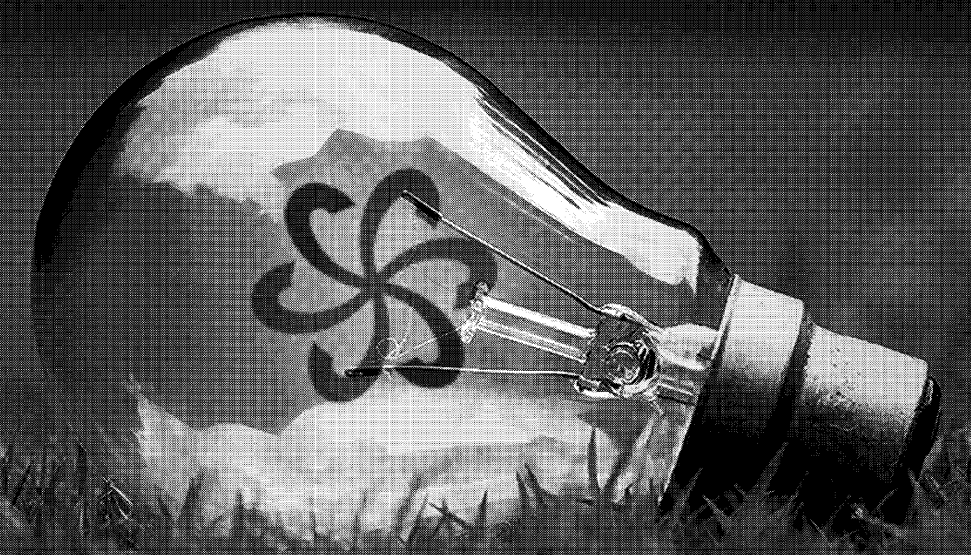


日新電機株式会社 <https://nissin.jp/>

NISSIN ELECTRIC SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

日新電機グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

Tomorrow's solutions, today



はたらきを化学する。

三洋化成 Sanyo Chemical www.sanyo-chemical.co.jp/

検索



立命館大学社会共創推進本部本部長 三宅 雅人氏

立命館大学は4月、大阪いばらきキャンパス(OIC、大阪府茨木市)で社会課題解決に向けた「共創の場」となる新棟「TRY FIELD (トライフィールド)」を稼働した。同拠点を運営する社会共創推進本部の三宅雅人本部長に、取り組みや狙いを聞いた。

「自治体や産業界、地域と大学がより連携できるような建物設計にしたい。1階は自由に出入りでき、OICの教員の研究成果を展示。セキュリティがかけられる企業向け貸しオフィスや、コワーキングスペースも設けた」

「社会共創推進本部の使命は、「社会課題解決の取り組みの核となる組織だ。授業設計をする部署や会計・財務関係の部署の職員にも兼務してもらった。実務者が兼務する組織は本学では初めて。教員にもフューとして参

「共創の場、核に新たな産学連携促進

「従来の産学連携にならぬところが持ち込まれる。日立造船とは社員向け情報リテラシー教育のビデオを面白くするため、オンラインキャラクターや動画を制作。商売パッケージデザインに学生の意見を取り入れるマーケティング活動や、採用を見据え学生に自社の知名度向上を図りたいというニーズも聞かれる。企業の優秀な若手向上を促すネットワーキングの場」としたいとの声もある」

連携特集2024 京de 創ル

社会課題の解決と人づくり



国内外のスタートアップをスタートアップにおいて尿と便を検知する排せつセンサーを00人が来場するなど、日本最大規模のイベント「IVS」が昨年を生き残る必要がある。京都市は「八丁」が昨年を生き残る必要がある。京都市は「八丁」が昨年を生き残る必要がある。

京都進出のきっかけに 人の集積・交流で産業活性化

京都市は2023年、イベントで最高評価を得た企業に最大1000万円を授与する「スタートアップ市下京区」と社会起業家支援の「talki」を創設した。初代受賞者で、課題解決を目指す起業家支援プログラム「CO-MI Project」を2020年から開催

産学で共同開発相次ぐ 成果導く研究が活発化

高齢化に伴う慢性創傷(難治性皮膚潰瘍) 京都大学と共同開発した創傷に貼り付けた、患者の増加が問題となった治療材料の製造販売 菌感染を助長せず治癒を促す、2 癒を促進する。025年度 細菌などを用いたモデルの発売を、脱石油を目指して、製品づくりや未利用資源の活用も重要な。大腸菌源活用の観点も重要と、両者の共同研究を深化し、造した人工 島津製作所は、バツカタンバク質 ス・バイオインベシ「シルクエ」(神戸市中央区)を推進する。

拠点に京都市長岡京市を、5月に支店を設けた。

31回目を迎えた今回のIVSは、昨年の1万人を上回る1万2000人が来場するなど、大盛況だった。この盛り上がりは産学連携の共同研究を深化し、シミュレーションと実験を融合して先端プロセを開発を推進する。



認知症を恐れない世界へ。

認知症の原因物質と言われる「アミロイドβ」。島津製作所は、わずかな血液からアミロイドβを検出する技術で、認知症リスクの早期発見と治療法の研究に貢献しています。科学技術は、夢の味方です。

SCIENCE: THE ALLY OF DREAMS. SHIMADZU



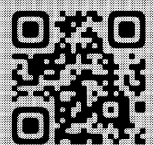
受託成膜加工、焼結加工を京都から

https://www.hakumaku.com/

成膜

焼結

KTM 京都薄膜材料研究所



〒611-0033 京都府宇治市大久保町上ノ山22-1 TEL.0774-41-6656

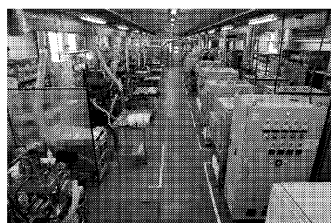
京都薄膜材料研究所は、三和研工業の蒸着材料事業をより強みに推進するための部門として発足しました。

当研究所では蒸着材料メーカーとして、蒸着装置を用いた様々な材料の蒸着実験を繰り返しおこなっています。その成膜技術を生かし、受託成膜加工のご依頼にお応えしております。

また、各種焼結設備も保有しており、様々な焼結対象材料に対応、受託焼結加工も承っております。

- ・ 実験を行いたい自社には生産設備がない
- ・ 複数材料の調査から依頼したい
- ・ 焼結条件の相談をしながら試作開発を進めたい

このようなお悩みの企業様、当研究所にご相談ください。これまでの100社以上の実績から、最適な解決方法をご提案します。



先端技術で社会に貢献する

レーザ加工システム

Laser Processing Systems

二次電池検査システム

Rechargeable Battery Inspection Systems

ライフサイエンス

Life Sciences

株式会社 片岡製作所
KATAOKA KOTOYO JAPAN
https://www.kataoka-ss.co.jp

本社 〒601-8203 京都市南区久世楽山町140
TEL(075)933-1101(代) FAX(075)931-1608
東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-14-9
TEL(03)5524-3411(代) FAX(03)3563-9710



次世代人材育成の動き広がる

連携特集2024 京de創ル



京都オムロン地域協力基金が創設した奨学金制度の認定証授与式の記念写真(下段右端が山田理事長)

奨学金や研究助成制度整備

社会や産業、科学技術の持続的な発展には次世代を担う人材の育成が欠かせない。京都は研究助成制度や奨学金給付制度を整備し、技術者や学生の育成に取り組み企業も多く、少子高齢化や人手不足が叫ばれる中、その動きは広がりを見せる。

計量・包装機大手の末、医療現場の人手不足を目指し、インタメテシタは2023年、足や就労環境改善など、イカル財団を立ち上げた。

同財団と京都市、公ムロンが協力を呼びかけた鳥津製作所やS.C.高度技術研究所の3者、REINホルディンは、ライフサイエンス分野の研究開発と人材育成で連携協定を締結し、4月から医療機器開発や看護業務の改善、財団、堀場雅夫賞、村田海外留学奨学金、村田学術振興・教育財成事業を立ち上げ、3者で取り組んでいる。

オムロンが創設した京都オムロン地域協力基金(京都市下京区)に取り組んでいる。

鳥津製作所執行役員 西本尚弘氏

「研究所の主な役割は、術研究所(京都府精華町)は、中長期視点でコア技術を開発する拠点である。方、外部組織と連携する共創拠点の側面も持ちます。」



出にも取り組んでいる。研究所を整備したのは、立地するけいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)のまちづくりとほぼ同じ時期。企業の研究所や大学が集積し、町自体がオープンイノベーションをテーマに整備されたこともあり、社外とのコラボレーションは当時から意識していた。

「具体的な連携は、アップの技術調査やデューデリジェンス(価値査定)を担うのも、研究所所属の研究員だ。当社は23年にコーポレート・ベンチャー・キャピタル(CVC)を設立した。研究員を京都市内の本社に派遣し、出資の意思決定に必要な情報を収集している。新規事業創出という観点では、技術検証を行った。腸の細胞と腸内細菌の相互作用を評価する臓器模倣デバイスや、装置の小型化と高性能化につながる量子赤外分光技術は社外連携の成果だ。」

鳥津製作所にとって連携とは、

「当社にとって連携は、ポット出の考え方はなく、約10年前の創業の頃から脈々と受け継がれてきたもの。伝統を基に、CVCなど新しい共創にも取り組んでいく。」

コア技術研究と社外との共創両立

「当社にとって連携は、ポット出の考え方はなく、約10年前の創業の頃から脈々と受け継がれてきたもの。伝統を基に、CVCなど新しい共創にも取り組んでいく。」

堀場製作所社長 足立正之氏

「自動車や半導体などで分けていたセグメントを『エネルギー・環境』を軸に再編した。『パイオ・ヘルスケア』の3フィールドに再編しました。」



「グループ内連携を加速するために再編した。『エネルギー・環境』を軸に再編した。『パイオ・ヘルスケア』の3フィールドに再編しました。」

「水素製造装置向け検査装置など、水素関連製品の需要が膨らんでいる。世の中がカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に動いており、欧州での水素市場の成長は特に目を見張る。」

「エンジン車などの内燃機関向け検査装置も、落ち込んだ需要が復活しつつある。自動車の電動

大学と連携 ダイヤの原石磨く

「当社にとってアカデミアは、人材の供給源かつ顧客で共同研究先でもあり、切っても切れない関係。大学には磨かれていないダイヤモンドの原石と言え、技術がゴロゴロと転がっている。業界動向や技術の応用先を知る当社が、それらを輝かせるために大学と連携することは、お互いにウィンウィンとなる。」

SCREEN

Innovation for a Sustainable World

人と技術をつなぎ、未来をひらく



SCREENホールディングス
www.screen.co.jp



MONOLITH

買通孔粒子 10μm 粒子内部構造 10μm モノリス多孔膜の断面 10μm

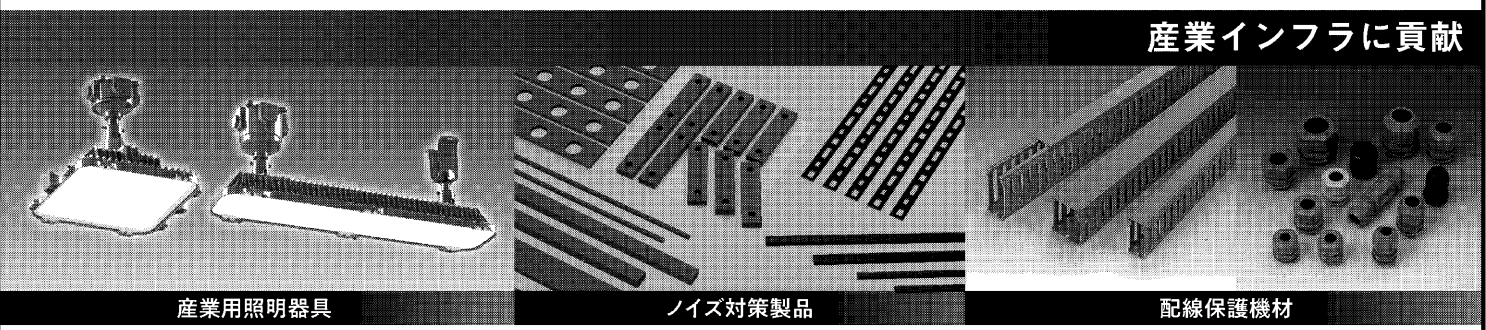
MONOLITH (モノリス)は貫通した均一な細孔と骨格材が絡み合った共連続構造を持つ一体型の多孔材料で、エマオス京都はモノリスの粒子化、薄膜化ができる独自技術を有しています。このような技術を採用し、従来の多孔体では困難だったバイオ医薬品精製に最適なクロマトグラフィーカラムや、フロー合成リアクターなどへの応用開発を行っています。

Emaus 株式会社エマオス京都

〒615-0055 京都市右京区西院西田町26 TEL.075-323-6113 FAX.075-323-6115 <http://www.emaus-kyoto.com>



安心・安全で持続可能な社会へ



交通インフラに貢献

産業インフラに貢献

SEIWA SDGs ※

当社のSDGsへの貢献

モノづくり 人・組織

環境 社会貢献

※SEIWA SDGsのロゴは、「環境と調和しながら、私たちの最もかかりが深い社会インフラで貢献を行いながらゴールを目指す」星和電機の姿を表しています。

SEIWA 星和電機株式会社 本社工場 〒610-0192 京都府城陽市寺田新池36番地 TEL.0774-55-8181 FAX.0774-58-2034 <https://www.seiwa.co.jp>

— 地域金融機関に高まる期待 —



京都フィナンシャルグループは、長期ローンなど「安心4月」に「地域みらい共創事業」を始めた。本グループは、創業以来「各部門を横断した15」の体制で「地域みらい共創事業」を立ち上げ、地域の発展に貢献している。1000億円の投資を、高成長や後継者不足を背景に、高い水準で「地域産業の発展」を推進する。高成長や後継者不足を背景に、高い水準で「地域産業の発展」を推進する。高成長や後継者不足を背景に、高い水準で「地域産業の発展」を推進する。

京都フィナンシャルグループは、長期ローンなど「安心4月」に「地域みらい共創事業」を始めた。本グループは、創業以来「各部門を横断した15」の体制で「地域みらい共創事業」を立ち上げ、地域の発展に貢献している。1000億円の投資を、高成長や後継者不足を背景に、高い水準で「地域産業の発展」を推進する。高成長や後継者不足を背景に、高い水準で「地域産業の発展」を推進する。

京都中央信用金庫は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析し、その企業活動を継続的に支援する。この「京都中央信用金庫」は、関係機関との連携を強化し、企業に合わせた融資やアドバイザリーサービスを提供している。また、同金庫は6月に開始した「2022 D」プログラムへの参加も発表している。今後、財務情報開示も、取引先企業へのサポートも、30年度末に向けた伴走支援を積極的に展開する方針だ。

京都中央信用金庫は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析し、その企業活動を継続的に支援する。この「京都中央信用金庫」は、関係機関との連携を強化し、企業に合わせた融資やアドバイザリーサービスを提供している。また、同金庫は6月に開始した「2022 D」プログラムへの参加も発表している。今後、財務情報開示も、取引先企業へのサポートも、30年度末に向けた伴走支援を積極的に展開する方針だ。

京都中央信用金庫は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析し、その企業活動を継続的に支援する。この「京都中央信用金庫」は、関係機関との連携を強化し、企業に合わせた融資やアドバイザリーサービスを提供している。また、同金庫は6月に開始した「2022 D」プログラムへの参加も発表している。今後、財務情報開示も、取引先企業へのサポートも、30年度末に向けた伴走支援を積極的に展開する方針だ。



連携特集2024 京de 創ル

ニチコン社長 森克彦氏

「電気自動車(EV)が駆動です。V2Hシステムの工場のあり、環境政策に力を入れる京都府亀岡市は、通信ネットワークや電池システムなど、エネエネ、4月に脱炭素や強靭化を目的とした協定を要。ソフト開発部署の強化に加え、社外とのライアンス強化にも取り組む」

「事業拡大に向けたライアンス戦略は、「コンデンサー」は材料メーカーとの協同開発や、設備メーカーとの新たな生産手法の開発、生産技術の向上などに取り組んでいる。産学連携では東京大学生産技術研究所と協定を結び、8年にわたって、研究開発を推進。人間工学の観点から、NECST事業の製品の使い勝手を良くするといった研究テーマもあるなど、自由な雰囲気での産学連携に取り組んでいる」

「コンデンサー」事業の足元の状況は、「コロナ禍をきっかけとした在庫調整の時期を抜け、少しずつ産業機器やエアコン向けコンデンサーの需要が戻ってきた。EV向けの需要は強くないが、復調傾向にある。ハイブリッド自動車(HV)向けは堅調だ」

社内外でアライアンス戦略強化

「事業拡大に向けたライアンス戦略は、「コンデンサー」は材料メーカーとの協同開発や、設備メーカーとの新たな生産手法の開発、生産技術の向上などに取り組んでいる。産学連携では東京大学生産技術研究所と協定を結び、8年にわたって、研究開発を推進。人間工学の観点から、NECST事業の製品の使い勝手を良くするといった研究テーマもあるなど、自由な雰囲気での産学連携に取り組んでいる」

TRY FIELD

RITSUMEIKAN UNIVERSITY

ようこそ、大学と社会をつなぐ共創プラットフォーム「TRY FIELD」へ。

ここは訪れるすべての人が、挑戦と失敗を繰り返しながら、未来を自由に創り出していける場所。

リアルとバーチャルが融合し、社会とつながるキャンパスには、きっと、想像を超える学びが広がっている。

さあ、どこまでも自分らしく、挑戦を楽しもう。

Futurize. RITSUMEIKAN ANNIVERSARY

地球環境を大切に
してるんだって

みんなイキイキ
働いてるね

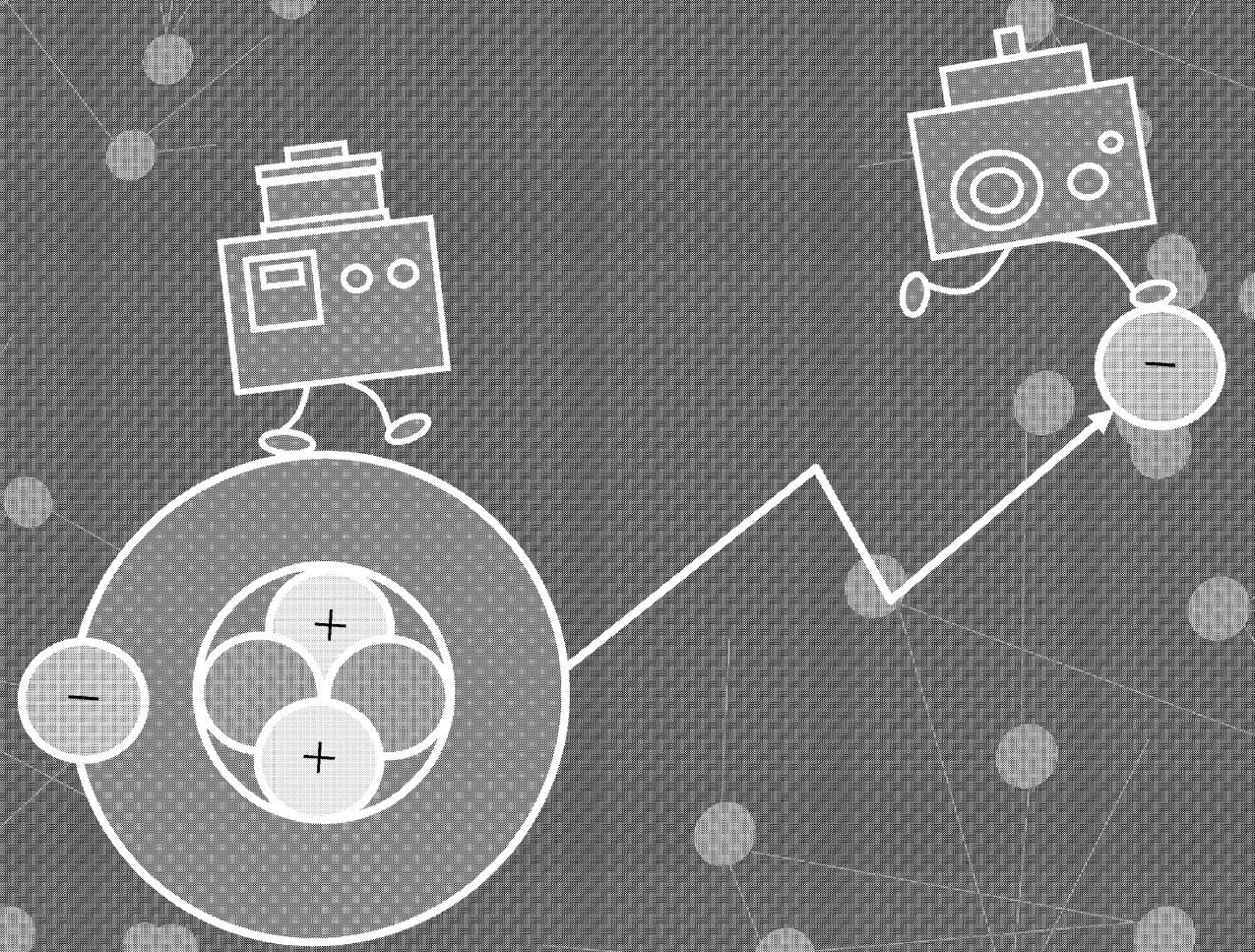
健康に
役立つものも
作ってるんだ

わたし、
この会社がスキ!

化学は世界を楽しくする。
第一工業製薬

本社 〒601-8002 京都市南区東九条上段田町48番2 Tel.075-276-3030 東京本社/研究所/名古屋支店/九州支店/四日市工場/大湯工場/滋賀工場
www.dks-web.co.jp

プラズマで一步先へ跳躍



株式会社 魁半導体 京都府京都市下京区西七条御前田町50番地
TEL 075-204-9589 FAX 050-3488-5883
URL https://sakigakes.co.jp

連携特集2024 京de創ル



サムコ会長兼CEO 辻 理氏

化学系相成長(CV)が伸びている。インドD)装置や洗浄装置などは、2022年にベンカド、半導体製造装置を手ルルに営業事務所を設けた。現状、年2〜3台「欧米のみならず世界の機械が売れる程度だ」から装置の引き合いが増え、人口が中国を超越え、国内よりも海外販売が期待されている。

「サムコを起業して22年、材料科学の博士後課程研究者を育成する寄附講座を開講してき、面白い市場だ」

「22年から京都工業維大で、材料科学の博士後課程研究者を育成する寄附講座を開講してき、面白い市場だ」

「サムコを起業して40数年が経過、次世代育成の必要性を感じるようになった。コロナ禍をきっかけに若者が世界に目を向けない傾向が強まり、日本の学術レベル低下に拍車がかかっている。新製品開発など一般的な産学連携からさらに踏み込み、世界で通用する専門性を持つ人材を育成する。また企業に在籍する45歳前後の技術者の再教育も狙っている。大学卒

業から20年たつと、学んだことが古くなっていることが多い。専門性を磨き直し、第二の人生を開くことは、本人と社会の両方にとって重要だ」

「京都市伏見区の東高瀬川地域に先端産業集積を目指す『東高瀬川ビジネスパーク構想』を主導しています。」

「3月に本格始動した。ライフサイエンス半導体の2本柱で研究会や市場分析会を定期開催する。京都の産業や科学技術の原点は、人がやらないうことをやること。新しいことを探して、違いを徹底的に調べ上げ、イノベーションにつなげる」

企業・社会活性化、起業家支援へ

課題解決型店舗スタート!

ご事業の課題	くらしの課題	地域社会の課題
<ul style="list-style-type: none"> 販路拡大 人手不足 デジタル化 アトツギ問題 など 	<ul style="list-style-type: none"> 資産形成や老後の備え 相続問題 家の購入・リフォーム こどもの教育費 など 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化 お店の閉店が続く 空き家問題 など

京都信用金庫

京都信用金庫は窓口になった。ほかの金融営業時間を午前中のみ、機関と一線を画す店舗とし、午後は顧客や地帯で、社内制度改革の課題解決に特化した独自の「課題解決型店舗」を拡充。同金庫は17年に営業決定型店舗を拡充。収益を撤廃。目先の「バンクアゲ」として、地域に寄り添い、中長期の関係を構築する。同金庫は2025年を以て、23年には地域半数の47店まで増やす。特性に応じた課題解決予定で、同店舗を通じ、活動を目的に営業地域を10エリアに区分けし、事業、地域の課題解決に向けて職員が主体的に行動し、支援する体制を構築した。

同型店舗は7月12日、題解決に向けて職員がユールの吉祥院支店、主體的に行動し、支援する体制を構築した。

日本政策金融公庫

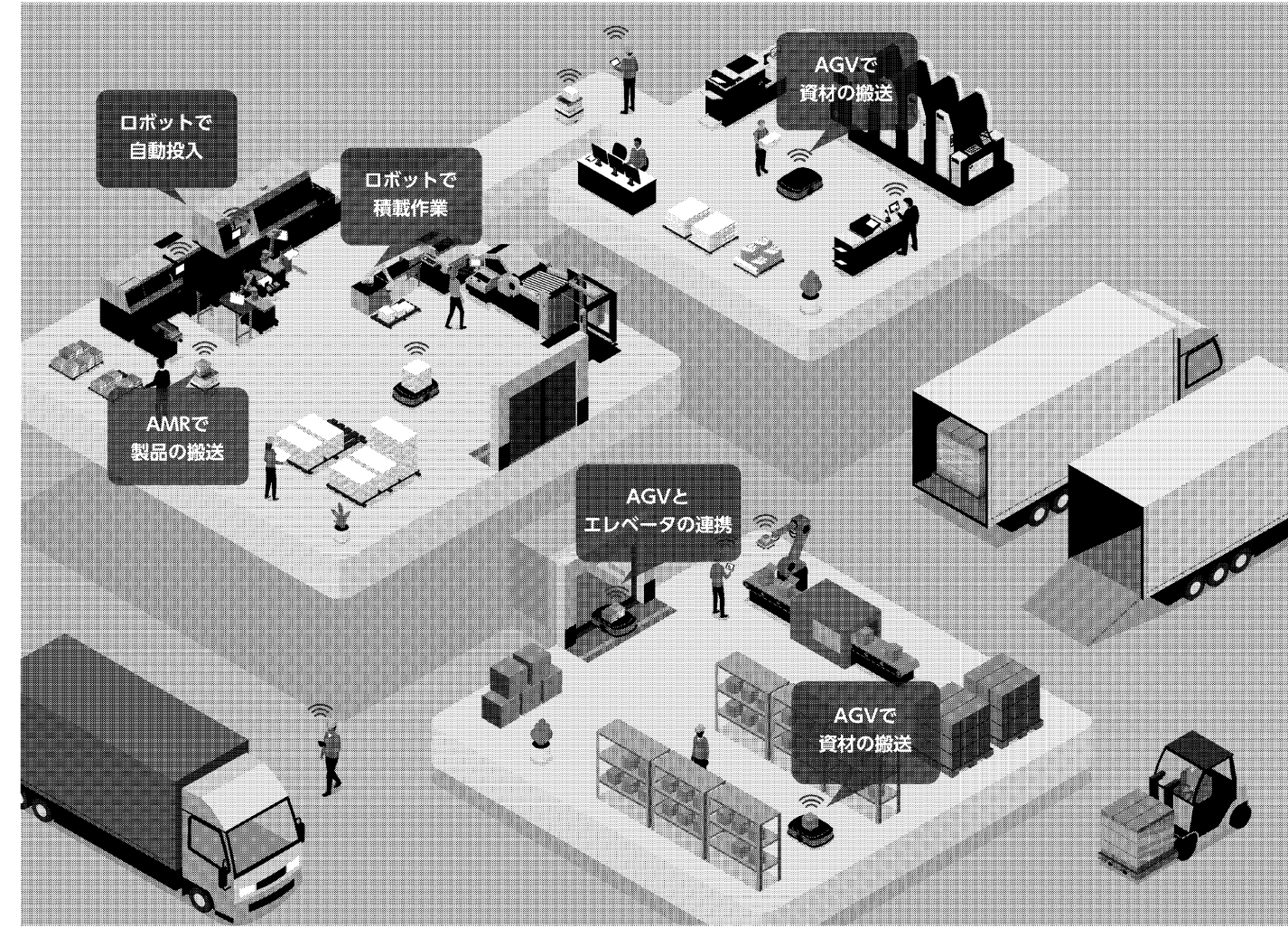
民間金融・支援機関と連携して起業家育成

日本政策金融公庫京性起業者が語る起業の都創業支援センターは「本音」セミナーで起業家育成で民間金融は「サロンド」まち機能や支援機関と連携と連携した交流会、し、多様な取り組みを女性起業家のネットワーク展開している。女性起業家や学生起業家、ス、6日には京都大学をターゲットへの幅広、会場として社会課題の支援が特に好評だ。解決を目指すスタート同センターは地域のアップを招き、高校生支援機関とともに、女が起業家の熱量に触れる機会も提供する。支性起業家のコミュニテ、援機関との連携を深イール形成に取り組む中、援機関との連携を深で、事業ステージの近め、若者への起業家教育女性起業家同士がつ、育やスタートアップながる場「サロンド」からスタートアップま「こまち」を提供して、幅広く支援している。2日開催の「女」。



「女性起業家が語る起業の本音」を2日に開催

Horizon Change the focus



ホリゾンの Factory Automation

「工場・倉庫内の運搬作業に時間がかかる」、「箱詰め・パレタイズが作業員の負担になっている」など、現場のお困りごとはありませんか?

AGVを用いた自動搬送、協働ロボットを用いたパレタイズなど、お客様のご要望・ご予算に合わせたFactory Automationをご提案致します。

まずはお気軽にお問い合わせください。

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360

東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083

京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大蔵町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025

福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112

仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

fb.me/Horizon.sns



はくまく 薄膜 技術

で
世界の産業科学に
貢献する。

半導体製造装置の
サムコ株式会社
Samco
PARTNERS IN PROGRESS

〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町36 TEL:075-621-7841

未来を創る人を応援します。

未来を開くのは新しい試み。
それをサポートするのが、あなたの身近な融資窓口、日本公庫です。

新たに事業を始める方
または、事業開始後おおむね
7年以内の方

新規開業資金

スタートアップなど、
黒字化までに時間を要する
事業を行う方

資本金ローン
(挑戦支援資本強化特別貸付)

社会的課題の解決を
目的とする事業を営む方など

**ソーシャルビジネス
支援資金**

長年にわたり行ってきた創業支援のノウハウを結集させ、
創業前のご相談から創業後のフォローまでを、
お客様に寄り添ってお手伝いさせていただきます。

JFC 日本政策金融公庫
行こうよ！ 公庫
0120-154-505

京都創業支援センター
京都支店/〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入函谷鐘町101 TEL:0570-058788(受付時間)
アーバンネット四條島丸ビル4F
西陣支店/〒602-8375 京都市上京区一乗道御前通西入大上之町82 TEL:0570-061401(受付時間)
舞鶴支店/〒624-0923 京都府舞鶴市字魚屋66 TEL:0570-061435(受付時間)

日本公庫 検索 <https://www.jfc.go.jp/>

三洋化成

三洋化成は化学の力で生活の質(QOL)の向上を目指している。生体組織の修復・再生のための足場として高い効果のある機能性たんぱく質「シルクエラスチン」を開発し、産学共同で患者の自然治癒力を高める新しい治療法の確立に取り組んでいる。

同社は京都大学と糖尿病性皮膚潰瘍など慢性創傷(難治性皮膚潰瘍)に対する治療材を共同開発した。薬事承認申請を行い、2025年度中の国内発売を目指す。

また広島大学とは変形性膝関節症などの半月板損傷の治療に用いる再生材料を共同開発し、25年度に企業治験を予定。同社は社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」とののもと、持続可能な社会の実現に貢献する。

第一工業製薬

第一工業製薬は独自性のある製品、技術で評価される「ユニ・トップ」企業を目指す化学メーカー。本年度が最終の5力年中期経営計画「ELIZ 115」で、電子・情報・環境・エネルギー分野向け工業用薬品の収益拡大と、機能性表示食品などのライフサイエンス事業の早期実績化に取り組んでいる。

1日、京都の玄関口である京都駅八条口前(京都市南区)に本社移転し、大阪支社を統合した。連携強化とコミュニケーション活性化で、社員のエンゲージメント向上につなげる。京都市が推進する同駅南エリアに新たなビジネス拠点を創出するプロジェクト「京都サウスベクトル」の第1号に指定されており、自治体との連携も強化して発展を目指す。

星和電機

星和電機は本社・工場を京都府南部の城陽市に構えるメーカー。道路情報表示板などの情報表示システム、明かりで安全を確保する道路・トンネル用照明器具、工場や施設向けの防犯形・防水形などの産業用照明器具、ノイズ対策製品、配線保護材料などを開発・製造・販売している。

同社は2021年に「SEIWA S D G S」を宣言した。モノづくり、人・組織、環境、社会貢献を実践し、経営戦略にもその考えを取り入れることで、社会課題の解決、持続可能な社会の実現に貢献することを旨とする。

これからも、技術力と開発力を生かした安心・安全を実現するソリューションを提供し、各事業分野で独自性のある製品・サービスの開発を進めていく。

有力企業の 製品・技術

〈順不同〉

エマオス京都

エマオス京都は新たな高分子多孔体「ポリマーモリス」のエキスパート。モノリスを粒子化した多孔性微粒子をこのほかに市場投入した。他社製品と比べて細孔径が大きく、貫通していることから、遺伝子治療薬に使う「遺伝子送達システム(AAV)」などのバイオ医薬品を高効率に分離できるのが特徴だ。モノリスを用いた精製カラムでは高速・高性能分離を狙った新規開発にも着手済み。国の「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)」に採択されている。

同社は独自技術を医療やエネルギーなど成長分野に展開すべく、京都大学化学研究所と基礎研究を行い、量産技術開発を国内企業と推進。連携の力を持続的成長に結びつける。

SCREENホールディングス

SCREENホールディングスは2024年4月から始まる新中期経営計画を発表。長期成長を支える経営基盤を構築する3年間と位置づけ、財務基盤を維持しつつ成長投資し、10年後の「売上高1兆円企業」を目指す。

5月には京都市立芸術大学向けにオリジナルフロント「Hiragino Kyogei Terrace」および建物の立体サインを制作するとともに、学内で使用可能なヒラギノフロントを無償で提供。今後、創作活動や情報発信などさまざまなシーンで同フロントが使用される。

今後も同社は産学公連携を通じて、環境・社会の課題に積極的に応える「ソリューションクリエーター」として地域社会の持続的な発展に貢献していく。

魁半導体

プロセス装置メーカーの魁半導体は大学発ベンチャー。これまで多くの大学や企業と共同研究を行い、新技術の創出や用途開発につなげてきた。最近では大阪公立大学とも共同研究を進めている。

後進の育成にも積極的だ。田口貢士社長は母校の京都工芸繊維大学で毎年講義を受け持ち、ビジネス創出や起業などについて、自身の経験を学生に伝えている。起業に関する相談を学生や社会人から受けることもあり、人脈や経験を生かした支援も行っている。

業容の拡大に応じて社内での技術開発力も高まっている。今春に開発したフッ素樹脂(PTFE)粉末を水に分散させる特殊プラズマ技術は、新素材開発などの活用が市場から期待されている。

京都リサーチパーク

1989年開設の京都リサーチパーク(KRP)は全国初の民間運営サイエンスパーク。公的産業支援機関含む510組織、6000人が集う。オフィス・ラボ賃貸、貸会議室、起業家育成、オープンイノベーション支援、セミナー・交流イベント開催など、新事業・新産業創出につながる多様な活動を行う。

5/12月で全4回開いた環境技術セミナーでは、共催する京都工芸繊維大学の研究者が環境配慮・負荷軽減などの技術開発、事業化に取り組む企業や事業体に向けて、最新の研究成果、業界のトレンドを発信・共有する。企業と学術の架け橋となる知識交流の機会を提供し、共同研究や新規事業創出のきっかけとなることを目指す。次回は10月9日開催予定。

連携特集2024 京de 創ル — 社会課題の解決と人づくり —

コミュニティ・バンク京信

一人でも多くのお客さまの「喜びの声」につながる
温かい金融をめざしてまいります。

京都信用金庫の取組を紹介!
京信のいちおし
ICHIOSHI

京信について
もっと深く!
もっと詳しく!

よりそう、
つながる。

READ NOW

京都市下京区四條通柳馬場東入立売東町7番地 TEL (075) 211 - 2111
「コミュニティ・バンク京信」は、京都信用金庫のブランドネームです。

京都の地に宿る「進取の精神」により 多様なパートナーと共に “京都発 最強のトータルソリューション商社”へ



産業機器システム
最適化の追求。
モノづくりの現場を支えるコンポーネント&装置システム。

半導体・デバイス
小さな部品に無限の可能性。組合せで“夢”が広がります。
高品質から低コストまで、お客様の多様なニーズにお応えいたします。

社会インフラ
キーワードは“環境・省エネ”、“安心・信頼”
快適空間をプロデュース。

情報通信
手のひらから広がるネットワークITで社内を最適化!
機器の販売からシステム設計・開発・メンテナンスまで、システムをトータルコーディネートいたします。

当社HPでは製造現場における課題解決の検討に役立つ「改善事例集」をご提供しております。

株式会社 **たけびし**

〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29
TEL (075) 325-2111 FAX (075) 325-2250
<https://www.takebishi.co.jp/>
本社/東京/甲府/名古屋/滋賀/栗東/福知山/大阪/九州/
香港/深圳/上海/タイ/ベトナム/シンガポール

現場の“カイゼン”を目的に事例やソリューションをご紹介
製造現場改善WEB

暮らしに、エネパ!

nichicon

エネルギーパフォーマンスを高める会社。

家庭を明るくすること。 家計を暗くしないこと。

ニチコン株式会社
〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上る TEL. 075-231-8461

ニチコン エネパ

「地域みらい共創事業」始動

—ともに未来を創りたい—

当社グループの主な営業エリアである近畿2府3県には、歴史・伝統・技術を有する特色ある企業が数多く集積しています。一方、高齢化や後継者不足、労働力不足といった課題を抱え、事業継続に不安を感じておられる事業者様も少なくありません。こうした環境下で、事業者様とともに課題を解決し、地域産業の継続・発展を通じて地域の未来をはぐむことが京都フィナンシャルグループの責務です。

京都フィナンシャルグループ

京都銀行 烏丸商事 京都クレジットサービス 京銀カードサービス
京銀リース 京都総研コンサルティング 京銀証券
京都キャピタルパートナーズ きょうとサービス 京都信用保証サービス

京都のレンタルラボの7割以上が集積

ハイレベルな 実験・研究が可能な 都市型ラボ 京都リサーチパーク

京都リサーチパークは、510社・6000人が集まる京都市内のビジネス拠点です。P2/BSL2相当以下のレンタルラボも多数ご用意しており、ご要望に応じた理想的なラボの構築をサポートいたします。

- ☑ 京都駅から電車で5分「都市型の研究環境」
- ☑ 設計自由度の高いラボ「バイオ系・ケミカル系・電気系に対応」
- ☑ イノベーションを育むコミュニティ「交流が生まれる機会創出」

運営：京都リサーチパーク株式会社 **KRP レンタルラボ**

ラボツアー開催中

連携特集2024 京de 創ル — 社会課題の解決と人づくり —

日新電機

日新電機は電力関連設備を中心に、独自の技術と高品質な製品提供で社会インフラを支えている。2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）実現に向け、多様なニーズに応えるエネルギーソリューション「SPSS（スマート電力供給システム）」や環境配慮型変電システムなど、環境に配慮した製品の普及を図る。また、電動車（XEV）の普及拡大で、需要が本格化しつつある炭化ケイ素（SiC）パワー半導体向けイオン注入装置の拡販も進める。

海外でも、東南アジアを中心に顧客ニーズを捉えた装置・部品製造に関するソリューション事業を展開。製品・サービスによる価値創造を通して、持続可能な社会実現に挑む。

ホリゾン

製本機メーカーのホリゾンは自社製品と工場自動化（FA）関連機器を組み合わせたことで、作業負荷を軽減するスマートファクトリーを提案している。印刷・製本工場では、人の手にする用紙の運搬や積載成果物の梱包（ごんごう）など肉体的に負荷のかかる作業が多い。これら作業を無人搬送車（AGV）や協働ロボットに置き換えることで、体力面に不安がある人材でも作業に従事できる。

主力製品の自動製本機は、スマートフォンのように直感的な操作を可能にしたユーザーインターフェース（UI）のタッチパネルを搭載。初心者から経験者まで、幅広いユーザーが扱える。多様な人材が働きやすい環境を構築することが、人手不足の解決策となる。

三和研磨工業

三和研磨工業は1949年の創業以来、「磨く・削る」分野に必要な製品とサービスの供給を使命とし、独自の高い商品性を市場に投入して、グローバルニッチトップを目指している。また、京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会の主幹として、講演会や高度な装置の見学、会員企業相互の交流を通じ、産学連携を促す環境づくりにも力を入れる。

同社は研磨技術製造工程で培った焼結技術を活用し、蒸着材料の製造を行っている。「表面価値創造」という新たな企業トメイン（活動領域）のもと、蒸着材料事業を強力に推進する部門「京都薄膜材料研究所」を通じ、粉体焼結技術を生かした光学薄膜用蒸着材料をベースに、新たな市場開拓を進めている。

片岡製作所

片岡製作所はレーザー加工システム、二次電池検査システム、ライフサイエンスの3フィールドの特定分野で生産設備の研究開発と販売を進め、京都から世界トップシェアを目指す。レーザー加工システムは、微細化が要求される電子部品超精密向け装置や、注目されるペロブスカイト太陽電池用レーザーパターニング装置などを開発・製造・販売する。

電気自動車（EV）用電池市場の急拡大に対し、同社は安全性の高い二次電池検査システムを開発して世界各地に展開。ライフサイエンスでは、人工多能性幹細胞（iPS細胞）などの培養で発生する不要細胞を人工知能（AI）で選別、レーザーで死滅させる世界唯一の装置が国内外で高く評価されている。

一緒にうれしい On Your Side

京都中央信用金庫は
総合力と専門性で
あらゆる**ビジネスシーン**をサポートしてまいります。

- 創業・ベンチャー支援
- 事業承継・M&A
- ビジネスマッチング
- 海外ビジネスサポート
- 補助金・助成金
- サステナビリティ経営サポート

京都中央信用金庫
www.chushin.co.jp

HORIBA

**HORIBAが
挑戦する
3つの分野**

いま、世界は劇的に変化しています。
「エネルギー・環境」
「バイオ・ヘルスケア」
「先端材料・半導体」
新しい持続可能な社会づくりに欠かせない、
これら3つの分野にHORIBAは「はかる」技術で貢献します。

HORIBAが挑戦する3つの分野に関する特設サイト▶

株式会社堀場製作所
〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2
www.horiba.com/jpn/